

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
レクリエーション理論	2	前期	講義	2	伊達 幸博

○授業の到達目標

1. 対象者がレクリエーション活動を楽しむことを通して心を元気にできるよう、達成感や良好なコミュニケーションといったレクリエーション活動の楽しさを感じる心の仕組みに基づき、レクリエーション支援を行うことができるようになる。
2. 対象者のライフステージに即した心の元気づくりの課題を理解し、親子、地域住民がともに楽しみ気持ちをひとつにできるようにレクリエーション活動を実施することで地域のきずなづくりに貢献できる。
3. レクリエーションの実践に必要な知識・技術を習得し、将来家庭・職場・地域等において実践できる能力を養う。

○授業の概要

レクリエーションの主旨（目的）は、心を元気にすることであり、レクリエーション支援者は、人々が自主的、主体的心を元気にできるようになることを目的に、ゲームや歌、ダンスといったレクリエーション活動を用いて手助けする指導者である。本講義では、以上の目的を達成するために、理論について学び、実践を通じてレクリエーションの価値を認識することで、レクリエーション支援者としての実践力向上を図る。この授業は、日本レクリエーション協会公認、レクリエーション・インストラクターの資格取得の主たる教科目として位置づけられている。なお、レクリエーション・インストラクター取得単位に関しては、本講義以外に、保育実習ⅡあるいはⅢの単位を取得すること、学内及び各県や市町村レクリエーション協会が提供する事業に参加（事業参加）または、スタッフ（スタッフ参加）として参加することが必要である。

○授業計画

第1回 オリエンテーション

レクリエーションの言葉の主旨、レクリエーション支援の目的、レクリエーション・インストラクターの役割

【事前学修】 シラバスを確認して授業の概要等を確認し、教科書に目を通して調べ学習をする。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第2回 楽しさを通じた心の元気づくり 対象者の心の元気

【事前学修】 教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第3回 対象者の心の元気づくりの課題 心の元気と地域のきずな

【事前学修】 教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第4回 良好な集団づくりの理論

【事前学修】 教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第5回 自主的、主体的に楽しむ力を育む理論

【事前学修】 教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

#### 第6回 リスクマネジメントの方法

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

#### 第7回 個々の活動の習得 創作活動

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

#### 第8回 個々の活動の習得 ダンス I

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

#### 第9回 個々の活動の習得 ダンス II

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

#### 第10回 個々の活動の習得 運動遊び I

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

#### 第11回 個々の活動の習得 運動遊び II

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

#### 第12回 個々の活動の習得 ニュースポーツ I

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

#### 第13回 個々の活動の習得 ニュースポーツ II

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

#### 第14回 模擬指導（プログラム）作成と実践

【事前学修】調べ学習を通じ、指導案の概略をまとめておく。

【事後学修】理解が不十分な内容について、教科書やインターネット資料を検索して学びを深めるとともに実践に向けた改善をおこなう。

#### 第15回 振り返りと総合考察 PDCAに基づくプログラムの評価と改善

【事前学修】模擬指導プログラムの相互評価を行い、改善点をまとめておく。

【事後学修】ブラッシュアップされた内容を現場実践し、学びを深める。

#### ○教員の実務経験と授業の関連

レクリエーション・インストラクターとして地域の幼児～大人へのレクリエーション支援に携わった経験と、鹿児島県レクリエーション・インストラクター養成講座講師としての経験を活かし、安全に配慮しながら教授する。

○テキスト

「楽しさをおとした心の元気づくりーレクリエーション支援の理論と方法ー」公益財団法人 日本レクリエーション協会

授業で配布する学習資料

○参考書・参考資料等

インターネット資料 日本レクリエーション協会「レクぼ」

○学生に対する評価

定期試験 50%、授業への参加態度 50%